

滋賀県感染症発生動向調査 感染症週報

令和5年第24週(6/12~6/18)【COVID-19情報】

令和5(2023)年6月22日発行 滋賀県感染症情報センター

1. コメント

- ・滋賀県の定点当たりの報告数は、増加傾向が見られます。全国的にも増加傾向が見られています。
- ・年齢別では、特に10歳代において、報告数と全年齢に占める割合の増加傾向が見られます。昨冬の流行初期には、10歳未満、10歳代から先行して増加が見られたこと、また昨夏は7月に感染者数の急増が見られたことから、夏の感染動向に注視が必要です。

2. COVID-19の定点当たり報告数(全国は前週)の値

定点当たりの報告数とは、定点医療機関からの1週間の報告数を定点医療機関数(COVID-19は60)で割った値のことで、1医療機関当たりの報告数のことです。(例:1週間の報告数200 ÷ 60 ≒ 3.33)

疾病名	滋賀県			保健所別							全国(前週)
	2週前	1週前	今週	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
新型コロナウイルス感染症	2.47	3.12	3.78	6.92	2.23	3.43	2.70	4.43	2.14	3.67	5.11

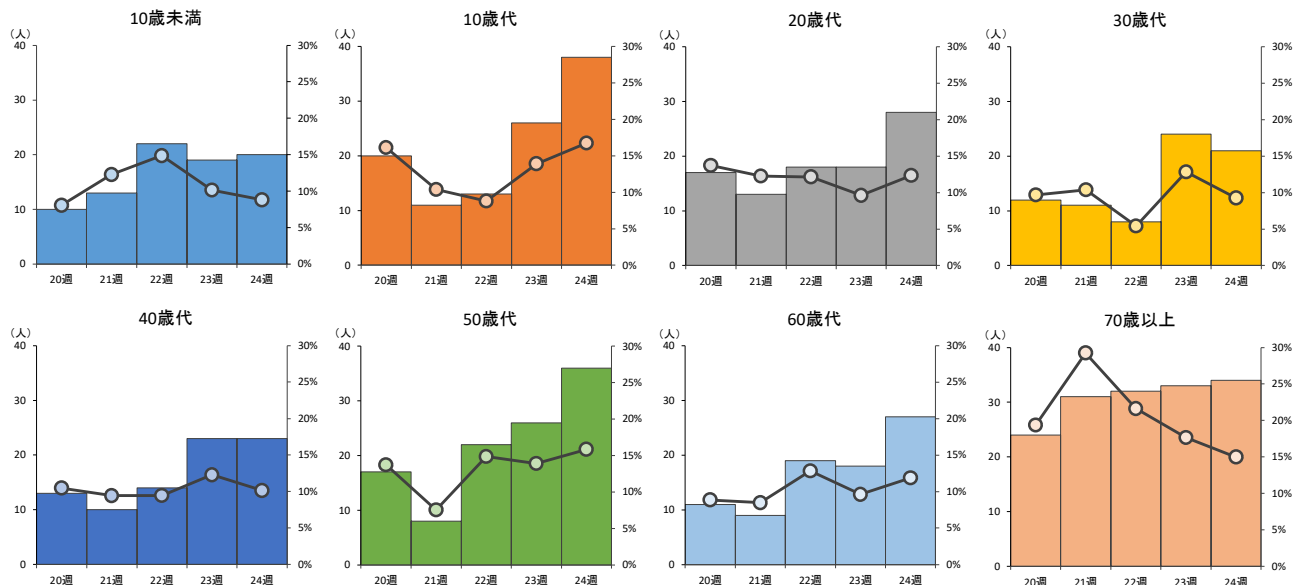
3. COVID-19の年齢階級別報告数(滋賀県、今週)

「-」:報告なし

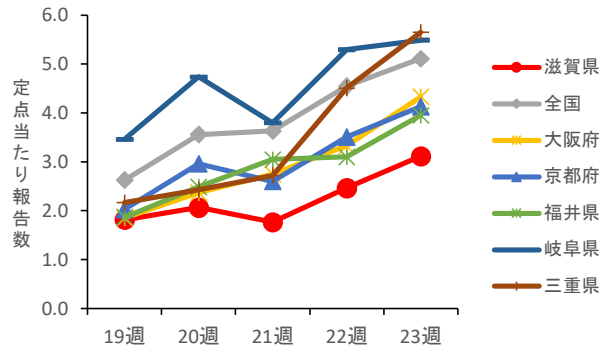
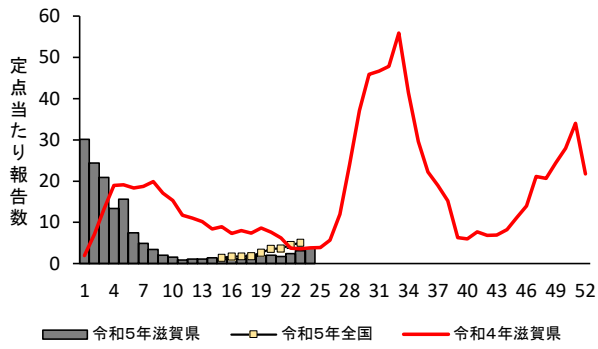
COVID-19定点	総数	~5ヶ月	~11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14歳	15~19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳~
滋賀県(60医療機関)	227	3	1	2	1	1	1	1	2	3	3	2	17	21	28	21	23	36	27	15	19
大津市保健所(13医療機関)	90	1	-	1	-	-	-	-	1	1	1	-	6	9	13	14	8	12	11	4	8
草津保健所(13医療機関)	29	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	5	6	4	1	6	3	1	1
甲賀保健所(7医療機関)	24	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	-	1	1	1	2	2	4	2	2	6
東近江保健所(10医療機関)	27	1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	2	4	2	1	-	3	3	4	2	2
彦根保健所(7医療機関)	31	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	1	1	6	1	4	7	5	2	1
長浜保健所(7医療機関)	15	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3	2	2	3	1
高島保健所(3医療機関)	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	1	-	2	2	-	1	-

4. COVID-19の年齢階級別推移(滋賀県)

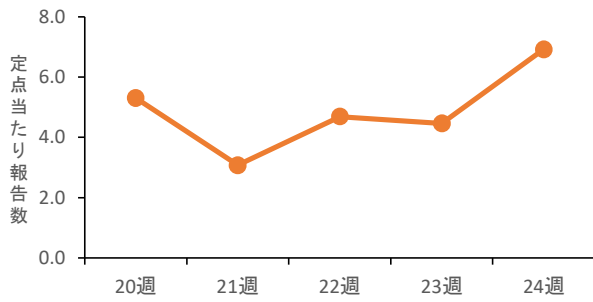
棒グラフ(左軸):報告数(人) 折れ線グラフ(右軸):全年齢に占める割合(%)



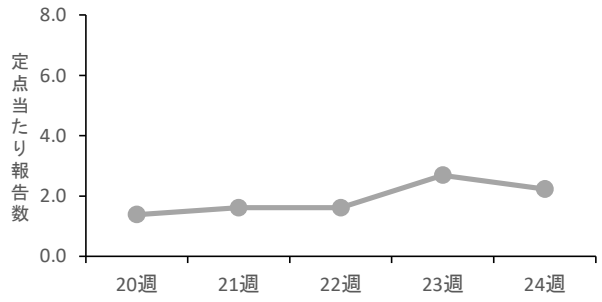
### 5. COVID-19の発生動向・保健所別推移等 (全国・他府県は前週まで掲載)



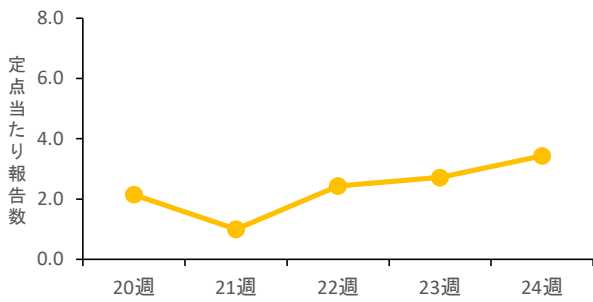
大津市



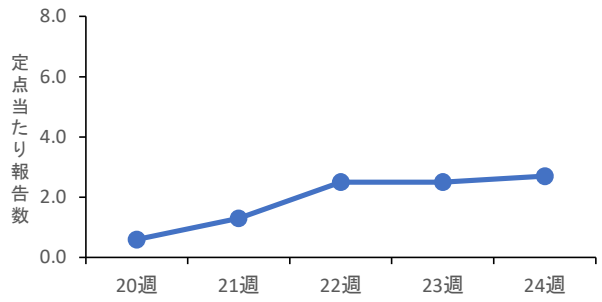
草津



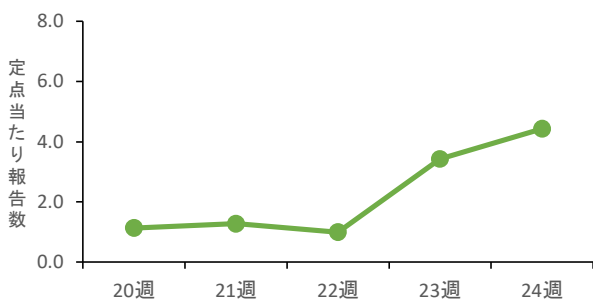
甲賀



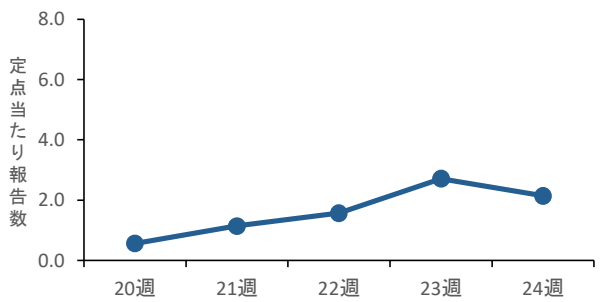
東近江



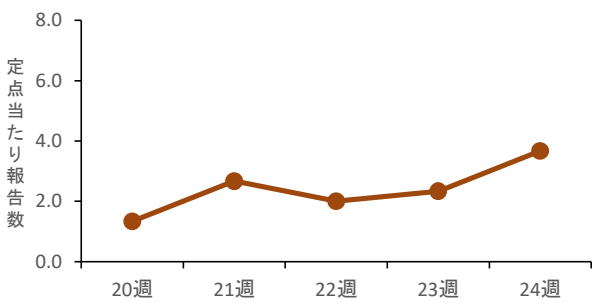
彦根



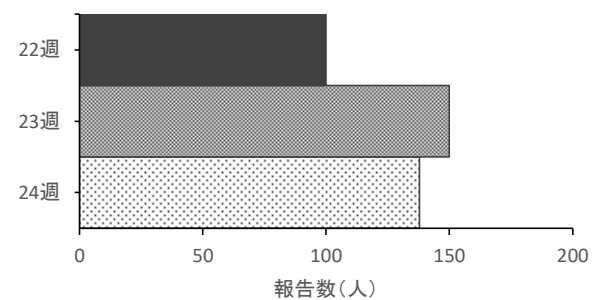
長浜



高島



学校欠席者情報収集システム(滋賀県)



# 変異株にかかるゲノム解析状況について

健康危機管理課作成  
6月18日時点

- 世界的には、XBB.1.5系統が30.0%、XBB.1.9.1系統が19.2%、XBB.1.16系統が18.0%を占めている。(WHO COVID-19 Weekly Epidemiological Update Edition 147 published 15 June 2023)
- 滋賀県ではXBB.1.5系統の検出割合が増加傾向にあるが、全国的にはXBB.1.16系統が増加傾向にある。
- 滋賀県では、令和5年4月時点ではXBB.1.5系統(28.8%) およびBA.5系統(23.7%)が感染の主流系統となっている。
- XBB.1.16系統は、XBB.1.5系統よりも広がりやすく、XBB.1.5系統と同様に免疫を逃れる性質は強いが、重症度はデルタ株やBA.1系統、BA.2系統と比べて低いことが示されている。(令和5年5月9日東京大学医科学研究所、WHO XBB.1.16 Initial Risk Assessment, 17 April 2023)

## ゲノム解析結果(検体採取日別 月報)

